

2017（平成 29）年度 大阪大学 文学部 入試問題 第 1 問 解答例

I

問一

(1) 酷評 (2) 若干 (3) 崇拜 (4) 権威 (5) 交響

問二

価格は需要と供給の関係によって決まるので、著名な画家の代表作が常識を超えた価格で取引されるのも当然と思われるが、絵画がもたらす感動は定量化できるものではなく、数値に置き換えることは不可能であるため、価格に見合う価値があるかどうかは判断できないから。

問三

作品の作り手が組み込まれている人間関係や社会的制度の総体の内部で、価値と価格の対応関係がほとんど存在しない文学において、絵画の場合以上に純粋に社会的メカニズムが作用し、作品が世に送り出され、作者が価値ある存在として認定され、地位を築いていく過程。

問四

高く評価される作家の作品に不変の価値が内在するということを万人の認める普遍的真理であるかのように思うのは、文学作品と同様に、絵画や音楽においても、客観的な根拠を持たないまま作品に価値を付与する共通の認識が形成されているにすぎないということ。

問五

客観的という言葉は、本来誰にとっても同じという普遍的な同一性をその定義とするはずであるが、現実には、特定の局面に応じていかようにも規定されうる曖昧さをもった政治性をはらんでおり、定義と矛盾する用いられ方をする点にむしろその特質があるということ。